

思いを豊かに表現する児童の育成 ～学校課題研究を通して～

提案者 那須塩原市立大原間小学校 教諭 和氣 水菜

1 はじめに

那須塩原駅にほど近い本校は、市内でも学力水準が比較的高い。学習への意識が高い家庭が多く、学力調査等では全体的に、全国や市の平均点を上回った。一方、領域別に見てみると「書くこと」に落ち込みが見られた。児童の意識調査でも、文章を書くことに対しての苦手意識が強いという実態が見られた。さらに、「自分の考えを皆の前で発表することが好き」という設問に対しても、大きく課題が見られた。これらのことから、自分が伝えたい思いを、意欲的に表現することができる児童を育成したいと考え、学校課題として研究した。

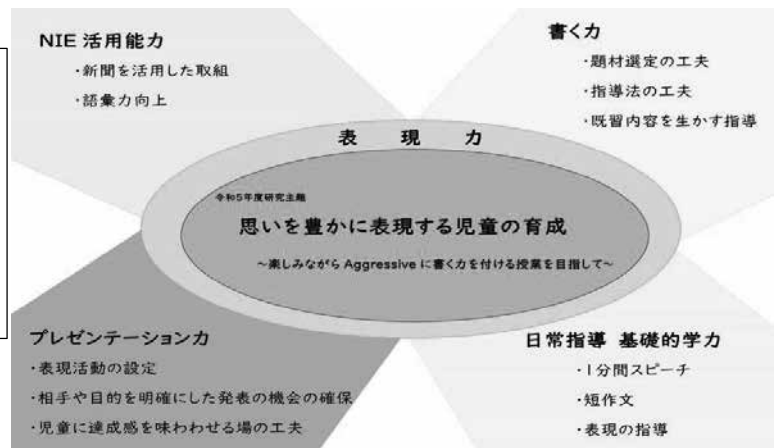
2 提案内容

(1)組織的な取組の工夫

目指す子ども像

- ①各教科で身に付けた基礎的・基本的な知識及び技能を活用できる子
- ②自分の考えや思いを表現することを楽しめる子
- ③自分の考えや思いを豊かに表現できる子

これらを実現するために、右のような4つの力を付けさせることで、児童の表現力育成をねらった。そこで、4つのチームを立ち上げ、それぞれのチーフに中堅教員を位置付けた。これにより、各チーフが中心となって、学年の枠を越え、組織的な取組をしていくことができるようにした。



(2)各チームでの取組

ア 授業づくりチームの取組

①研究授業の単元選定・指導案の検討

3年国語「仕事のくふう見つけたよ」では、3年担当に加え、各学年の国語担当がチームとなって学年の枠を越えて授業を作った。単元や授業を選び、指導案検討会を重ねて形にしていた。

②授業研究会の計画・運営

学びの多い研究会になるよう形態を工夫した。授業参観の前に観点を明確に示し、研究会では小グループで話し合うことができるようにした。共有の場では職員数の多さを生かし、ワールドカフェ方式にして、多くのグループの話合いの内容を共有できるようにした。

③国語の授業の指導法について検討・共有

教員間で気軽に授業を観合えるよう「J(授業)K(気軽に)M(観に来てね)プロジェクト」を企画し、2回の授業参観ウィークを設けた。また、国語部会で日頃の授業についての悩みを相談し合える座談会のようなものを実施した。



ワールドカフェ方式での共有の様子

イ 学力ベースチームの取組

①学力向上に向けて

4月に行ったとちぎっ子学習状況調査、全国学力・学習状況調査の結果から、夏休み期間中に全職員で

各調査の分析を行った。そこで明らかになった課題をもとに、取組の方向性の再確認・共有をした。9月からは「学力向上改善プラン」に基づき、学習指導の工夫・改善を行った。1月からは年間の取組の検証を行い、成果と課題を把握して、次年度につなげられるようにした。

②表現力向上に向けて

書く力向上のためには日常指導が鍵となると考えた。そこで、以下のようにレベルを3段階に分け、発達段階に応じて継続的に取り組んだ。

<p>【レベル1】書くことに慣れる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝チャレ(NIE等) ・週末作文(テーマ作文) ・ノート指導(自分の考え、まとめ、振り返り等の充実) ・MIMの活用 	<p>【レベル2】発想・表現を広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書指導(100冊読書) ・キーワードから短文作り ・絵や写真からの文作り ・一分間スピーチ 	<p>【レベル3】書く力・表現力を極める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達との学び合い <p>(例：書いた文章を読み合う →互いの考えを比較)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉・文の型や多様な表現方法の提示 ・要約・論証指導
--	---	---

ウ プレゼンテーション力向上チームの取組

- ・会社活動のプレゼン大会(学級活動との関連)

児童が意欲的に「表現したい」と思うような取組を計画し、実施した。4年生ではプレゼン大会を行い、それぞれの会社を紹介する1分程度の動画を作成した。兄弟学年である3年生に見てもらい、投票を行ってプレゼン王を決めた。動画を撮る際、気を付けさせたプレゼンのポイントを他の学年にも共有し、日常的に意識できるようにした。他の学年でも、総合的な学習の時間をはじめとする授業での発表等に生かした。

プレゼン王は うちの会社だ!

これからの時代、自分やチームをアピールすることが求められます。そこで、まずは4年生の会社活動を紹介します。

いつ	9/29(金)の朝の活動~1時間目
どこで	国工室
だれが	1組の会社から順に3組の会社
何を	会社の紹介を
どのくらいの時間で	1会社1分以内
どうやって①	1分間のビデオをついをします
どうやって②	10/2(月)の朝にどこかで動画を視聴します。
どうやって③	1人1人が評価シートをつけます。

最後に、一番福者が上手だった会社に投票します。
3年生にも動画を見てもらいます
※自分の会社には投票できません。

エ NIE 推進チームの取組

- ・NIE タイム

年度初めに、発達段階に応じた目標を設定した。そして、毎週木曜日の朝の活動をNIEタイムとし、各ブロックごとに作成したワークシートに取り組んだ。資料や文章を読み取ったり、記事に対して考えを書いたりする練習を積み重ねた。継続的に取り組むことで、読み取りの力や考えをまとめる力の育成をねらった。



校内のNIEコーナー

3 成果と今後の課題

○成果

4つのチームに全職員を配置したことで、組織的に研究を推進することができた。また、質の高い授業検討会や研究会の数々が、教師の授業力向上に寄与していた。NIE推進の取組に対する教師の意識付けも図ることができた。さらに、12月に行われた総合学力調査の結果から、全学年で書く力の向上が見られた。目的をもった表現活動では、児童の意欲向上が見られた。相手意識や目的意識をもたせることは、表現する上で欠かせないものだということが分かった。

○今後の課題

組織的な推進ができた一方で、それぞれのチームでの取組が多く、精選する必要があった。時間的な負担の軽減も課題として挙げられ、チームのメンバー構成にも再考の余地があった。また、「表現力」の捉え方を全職員で共通理解する必要があった。最後に、学力調査等では、「書くこと」の領域はまだまだ落ち込みが見られる。今後も継続的に取り組み、自信をもって自分の思いを表現できるような児童を育成していきたい。